

2

メディア別情報収集法 インターネット編

●使い分けは特性を知ることから

ここまで説明してきた通り、情報収集は、インターネットや新聞、テレビなどさまざまなメディアを使って行ないます。しかし、やみくもに動いても欲しい情報を手にすることはできません。むしろ、間違った情報、質の低い情報を手にしてしまうことすらあるでしょう。

効果的な情報収集をするためには、情報源となるメディアをうまく使い分けていくことが重要になります。そのために、まずはメディアごとの特性を理解しましょう。このパートでは、情報収集のメディアとして利用頻度が高いインターネットについて詳しく説明していきます。

●インターネットのメリット・デメリット

特性を理解する時には、常にメリットとデメリットをセットで考える必要があります。まず、メリットです。インターネットには二つの大きなメリットがあります。それは、量とスピードです。

まず、量について見ていきましょう。誰もが知っている通り、インターネットには無数の情報が存在します。一つひとつの真偽はともかく、それだけの情報があるメディアは世界中を探しても他に存在しません。量はインターネット最大の特性の一つだと言えるでしょう。

次にスピードです。インターネットで調べ物をしている時、タイトルの近くに「〇〇時間前」「〇〇分前」という表記があるのを見たことがある人も多いと思います。それらは、その記事がインターネット上にアップされてから経過した時間です。つまり、インターネットはほんの数分前にアップされた情報を簡単に手にすることができるのです。

最近では、SNSも日常生活の一部になっています。SNSは発信者がより個人に特化されたインターネットです。そして、ほぼリアルタイムで情報を集

めることができます。

SNSのスピードを証明する話を紹介しましょう。東日本大震災の発生直後、電話やメールが通じずに現地の知人の安否を確かめようがないという時、SNSが大活躍したという話があります。それは、仙台市の何区のどこまで津波が来たかということを示している人がいたからです。本人と直接連絡がとれたわけではありませんが、おおよそ大丈夫だろうと安心することができたということでした。

一方、デメリットは正確さや信ぴょう性です。新聞社など信頼のおけるところがアップしている記事であれば正確さも信ぴょう性も担保できるでしょう。しかし、前述したウィキペディアやSNS、ブログも含まれるインターネットは個人でも手軽に情報をアップして発信することができます。

その手軽さこそが、インターネットのデメリットを生んでいます。SNSのユーザーやブロガーが発信する情報の細部まで正確に調査しているとはかぎりません。むしろ、趣味程度で発信している人の情報は、偏った内容だったりするものです。中には凝った人がいて、しっかりしたデザインのホームページを作っている人もいます。そうするとパッと見た感じでは見分けが付きません。

この正確さや信ぴょう性が疑わしい情報、それに加えて明らかに間違っている情報をフェイクニュースと言いますが、情報収集においては、これを確実に取り除いていくことが重要になります。フェイクニュースを見分ける方法は後でしっかりと解説します。

量とスピードというメリットはどのメディアにもないインターネット特有のものです。これらを最大限に活かすために、正しいインターネットからの情報収集の方法を身につけていきましょう。

●インターネットでの収集はキーワードで決まる

あなたは、インターネットで何かを検索する時、キーワードを検索窓に入力しているでしょう。その時に何か工夫をしていますか？ 実は上手にインターネットから情報を手に入れている人は、テクニックを駆使して工夫しながら入力しているのです。

そこで、代表的なテクニックを紹介します。